

御殿場

十字の園

(題字 鈴木生二)

発行/総合福祉施設
御殿場十字の園
施設長 宮島克利
〒412-0023 御殿場市深沢1465の1
TEL 0550-83-1999
FAX 0550-82-5189
<http://www.jyuji.ne.jp>
e-mail:info@g.jyuji.or.jp
印刷/岳麓印刷株式会社

2016
No.210

[聖句] 喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい(ローマ12:15)



6月16日「御殿場みくりやそば」あなたのそばで振舞隊ご来園。
「一緒にお昼をいかが。」とおいしそうな香りに誘われてやって来た
マスコットキャラクター「ミクリン」をお誘いして。

イルド

理事長 平井 章

静岡県の「ふじのくに」型人生区分」では、高齢者を「壮年」と呼び、壮年初期(46～55歳)、壮年盛期(56～65歳)、そして66～76歳を壮年熟期です。因みに「青年」は18～45歳です。77歳以上は、初老・中老・長老で百寿者が百歳以上です。静岡県の女性の健康寿命は75・61歳で全国2位(前回1位)です。地域包括ケアシステムを構築する第一歩は「自助」。自分のことは自分です。そのために、健康長寿の3要素「運動」「食生活」「社会参加」で健康寿命を延ばしましょう。

次は「互助」。地域で支え合い助け合って生活する仕組みを作ることです。壮年熟期の力も借ります。「居場所と役割のあるコミュニティづくり」の言葉に出会いました。

高齢や障がいにより「出来ない」が増えます。「出来る」に視点を換え、残った力を引き出して、地域の居場所と役割を獲得しましょう。「あなた」は必要な人なのです。

人材育成制度改革プロジェクト

御殿場十字の園施設長 宮島 克利

介護保険関連のニュースを見ますと、最近では保険料の上昇やサービス利用料の負担増といった内容が目につきます。一方、人件費の原資となる介護報酬は削減傾向にあつて、人材不足が叫ばれている中、厳しい経営環境が続きます。持続可能な制度にするためにはやむを得ないとはいえ、「福祉は人なり」と言われるように、職員が安心して、意欲的に働き続けられる環境を整えることは、法人の使命です。状況の変化に対し、今後どのような人材育成や人事制度を築くかは、とても大きな課題となつてきています。

先日、来年春卒業予定者の採用面接が行われました。その中で福祉系の大学に通うある学生からこんなことを聞きました。「福祉の仕事に就くことは、労働条件が厳しい、給料が安いといった理由から親からは反対されていた。しかし、実際

働いている人には家庭を持つている人は多く、自分がやりがいの持てることで生活していけるのであれば、周りが反対しても福祉の仕事に就きたい。」さらに、「仕事をしていく中で、福祉の魅力を多くの人に伝えていき、働きたいと思う人を増やしていきたい。」と語ってくれました。とても嬉しかったです。実際その通りであり、私もまったく同じ思いを持っています。以前、当法人平井理事長は、「職員の子が高校卒業後、進学できる給与は維持していく」とイメージを話されておりました。実際、「〇〇に進学しました」とか、結婚した職員から「家を建てました」といった話までもよく聞きます。今後も、その若い学生を裏切ることはない、福祉の仕事の魅力を発信し続けられる職場を築いていきたいと思えます。

今年度の法人全体としての新しい取り組みとして、

花の友の会のスタート

高木 直也

私たち特別養護老人ホームでは今まで長い間、『逆デイ』とネーミングした近隣の家を借りてそこで一日くつろいで頂くというサービスを行ってきました。しかし、建物の老朽化が進み、二〇一五年の秋で使用を終了させていただきました。今までのサービスをやるのが出来たのも、地域で建物を貸してくださった方やボランティアさん、関係者・委員の力添えがあつたこと感謝しております。

逆デイがなくなつた後は？という話もあり、職員と検討を重ねる中、入所されている皆さんが居る場から出かけていつもと違う楽しいひと時を持つことが出来たら？という案ががありました。いきいきクラブという活動も続けてきた中で、今度は皆さんが自分の楽しみなどを自分で決めた



り、運営にも携わって頂くことが出来るようにしていきたい。という目標をもつて暫定的に『施設内デイサービス』という形で二月から試行していくことになりました。

名前は利用して下さる皆

さんに考えていただいたところ、「花の会」と「友の会」という案がありました。そんな中で合わせて「花の友の会」という名前はどうか？という意見があり、「それはいい！」と決まりました。お話しスタートでは思っていたより皆さんが活発に活動されて、先日はおしゃべりの好きな方やコーヒーの大好きな方の集まりをぶどうの木喫茶で持ち、大変賑わいました。

今後とも入居されている方々を中心にボランティアさんや職員みんなで花の友の会を楽しんで創っていきたいと思えます。

花の友の会



人材育成制度改革プロジェクトが始まりました。各施設の代表者が選出され、私もメンバーとして参加しています。具体的には人事評価制度の導入などになりませんが、目標は、職員が安心して働き続けられる、そして、モチベーションの向上と成長できる人材育成制度の構築です。社会保険労務士事務所の協力を得ながら、まずは一年をかけて評価制度を整えていきます。翌年度からは、その評価制度を試行し、必要なら見直しをしながら制度の定着を図り、給与体系なども見直していきます。

ばで頓挫してしまいました。理由として、コンサルタン卜料が高額で、それに見合う成果が見込めなかったからです。そもそも、人事評価制度を導入するコンセンサスがそれほど職員間で得られなかったのです。そこで、まずはせつかく作成した役割基準一覧表を給与体系と法人研修体系にリンクし一覧にまとめ、「社会福祉法人十字の園 キャリアパス基準及び法人研修体系表」を昨年作成しました。また、法人研修の基本方針等を見直しし、自らがキャリアアビジョンを描くことを盛り込みました。

新しくとは言え、実はこうした取り組みは五年ほど前から課題に上がり取り組んできたことでした。二〇一一年度に専門のコンサルタント会社と契約し、全職員から意識・満足度調査を行い現状分析しました。その後、各施設の役職者が集まり、研修を受け、意見交換等しながら役割基準等の一覧表を作成しました。しかし、翌年度には人事評価制度や給与体系等の見直しを予定したものの、計画半



ふじ33プログラムにチャレンジしました！

—夢や目標を実現するために自らが健康であることが大事—

安全衛生委員会
渡邊 直美

昨年十一月、職員三十七名が「ふじ33プログラム」に参加しました。静岡県が薦めたふじのくに健康寿命プロジェクトの一環として、『県民が健康に長生きして生活していく』ために、現在働き盛り世代(四十〜六十四歳)と呼ばれる人々が『身体的』『精神的』『社会的』に健康を維持できる事を趣旨として立案されたものです。仲間と声をかけあいながら「運動」「食生活」「社会参加」の三分野の行動メニューを三人一組で、三か月間実践・記録して行くことで望ましい生活習慣を創り出し、健康を維持継続していくことを推進

するプログラムです。

実践期間は年末年始の繁忙期と、忘年会・新年会等による食生活や生活環境に起伏が生じる時期ではありませんが、それなりの結果で終了できました。高齢者の介護や健康にかかわる仕事の私たちですから、自分自身の体のこと、生活習慣を知ること、またどうしたら健康寿命を延ばせるのかを体験することはとても大事なことだと思います。私ども施設を利用する方々にもお勧めできる内容もいろいろありました。何より私たち職員が健康で、笑顔を伝染して差し上げられる…そんな職場・施設になれたらうれしいですね。



ふじのくに

静岡県公式ホームページ

みんなで実践する健康づくり「ふじ33プログラム」

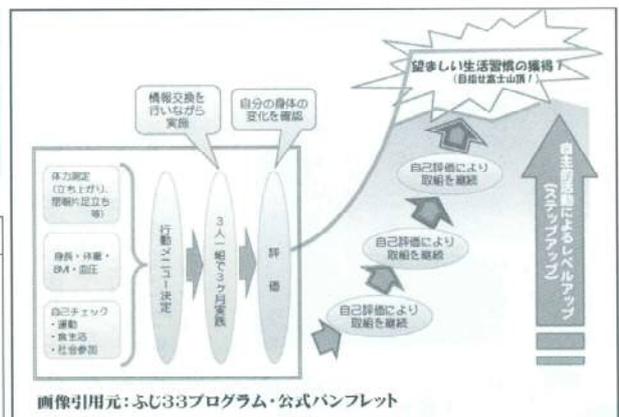
<https://www.pref.shizuoka.jp/kousei/ko-430/kenzou/fuji33/main.html>

ふじ33プログラムアプリ

iPhone (iTunes)



Android (GooglePlay)



画像引用元:ふじ33プログラム・公式パンフレット

かなりあ

★誕生パーティー

三浦桃花



三月二十四日に「ちらし寿司」と「ごら焼き」を作りました。かなりあは、二月にお誕生日を迎える方が多くいらっしゃいましたので、皆さん一緒に誕生パーティーを開催し、ちらし寿司とごら焼きでお祝いをしました。ちらし寿司は、参加された御家族にお手伝いいただきました。とても彩りが鮮やかで食べてしまうのが惜しいほどの美しい「作品」がテーブルの上に出まわがり皆さん目を輝かせていました。それだけではまだ足りません。午後のおやつは、皆さんと一緒にどら焼きを作って、まだあたたかい出来立てを食べていただきました。今日という日にとっておきの歌を披露してくださる方もいらっしゃいまして、とても賑やかなイベント・記念日になりました。

ちどり

★出前パーティー

遠藤由美



二月二十六日に出前パーティーを行いました。食事の前に昭和歌謡を歌い、昔の事を話したりしました。出前のメニューから「手毬寿司」と「オードブル」を頼み、それに「お吸い物」と「パバロア」を加えました。カウンターに並べた料理を、皆さん同じように取り分けて召し上がっていただきました。さらにまた食べた方、ご自分で料理を選ぶ楽しみを味わいたい方には、カウンターまでお越しただいて、バイキングの感覚を楽しんでいただきました。「美味しいね」「次はなにを食べようか」と楽しそうお話しながら、いつにもましてみなさん美味しく食べていらっしゃいました。

ひばり

★節分

猪越美穂



皆さんと一緒に恵方巻きを作りました。「マグロを入れたらおいしいよね」「もつと押しながら巻くんだよ。」等とノウハウとアドバイスを頂きながら一緒に作ることが出来ました。その年の干支に基づいてめでたいと定められた方角を「恵方」と言います。その方角を向いて食べる縁起物が「恵方巻き」。今年の方角は「南南東」です。皆で南南東を向いて一年の健康と幸せを願って、おいしく食べる事が出来ました。午後は職員が鬼の仮装をして、各ユニットを回り、豆まきを楽しみました。突然の鬼の訪問に驚いている方もいらっしゃいましたが「またおいで〜」と声を掛けて下さり、珍しい節分を迎えることが出来ました。

ひまわり

★ちらし寿司

小見山千明



三月吉日、ひまわりユニットでは食のイベントでちらし寿司を作りました。まだ湯気が立ち上る炊きたてごはんを楯に広げて寿司酢を合わせ、杓文字でご飯を切りながら、団扇で力いっぱい扇ぐと、水分が飛びご飯一粒一粒にツヤが出て、食欲をそそる良い香りが広がります。そして錦糸卵とマグロを乗せて完成。皆でいっしょに作ったから味は格別です。あちこちから「おかわり〜」の声が掛かり、中には普段食事の倍も食べた方も。いくつになっても、やっぱりお寿司は「おごっつお」（御馳走）なのかもしれません。

すみれ

★つるし雛

吾妻正也



二月にしてはぽかぽか陽気の中、秩父宮へつるし雛の見学に行ってきました。ここは秩父宮雍仁親王（ちちぶのみややすひとしんのう）が一九四一年から亡くなる前年の一九五二年一月まで療養生活をされた場所、その建物等を興味深く見学しました。目的のつるし雛は天使等色々な形があり、雛を見る度に笑顔で「かわいいなあ」と喜んでいただけることがなによりです。また帰りに売店にあったヒヤシンスをお一方購入されて、それが嬉しくて、笑顔で満足していただけました。お昼は「和食さ」と食事しました。おしながきを見ながらじっくりと時間を掛けて吟味して注文して、目の前に出てきた料理を堪能して「美味しかった」と満足されていました。施設に帰ってからも「良かったよ」と心から喜んでいただけました。

ケアハウス

イチゴ狩り

イチゴ狩りに行ってきました！



毎年恒例の春の外出ですが、今年は石垣いちご狩りに静岡市まで行ってきました。天気にも恵まれ御殿場から東名高速に乗って一時間ほど到着。係の人に案内されいよいよイチゴ狩りに。石垣イチゴということもあって本当に石垣の斜面にたくさんのおいしいそうな真っ赤なイチゴが鈴なりになっていました。さっそく食べてみると見た目も味もサイコー！おなか一杯いただきました。そのあとは高速に乗り富士川サーブスエリアへ。そこでまたお昼を食べました。さっきまでイチゴでおなか一杯って言うたのに？お土産も買って帰路につきましました。春を堪能する一日になりました。

〈ボランティア紹介〉

『すぎのこ』



私たち『すぎのこ』は、七年前に母と娘三人の親子で結成した大正琴の演奏をするグループです。杉山さんのお母さん（八十三歳）とその子供たちということから『すぎ(杉)のこ(子)』と命名しました。

親子四人の家族グループでしたが、三年ほど前にマルチパフォーマーの男性にメンバーの一員として参加して頂いて、それまで以上に演奏会の幅を広げることが出来るようになりました。現在この五名で皆さんのもとに伺わせて演奏をさせていただいています。

私たちの演奏を聞いて頂く皆さんに「なかなかのものだね。」と感心していただけるように幅広いジャンル（歌謡曲、演歌、童謡等）、新旧取り混ぜて多彩な楽曲に挑戦して懐かしさだけでは無く、新しさそして温かさを感じて聞いてい



ただくように心がけております。練習を重ねて伺わせていただいておりますが、毎回毎回が緊張の連続で、多少のミスは笑ってお許しただけると、私たちも安堵いたします。最後にメンバー紹介をさせていただきます。お母さん「杉山」八十三歳。長女「池上」、次女「渡辺」、三女「近藤」、そしてマルチパフォーマー「渡辺」の五名です。

施設内業務紹介

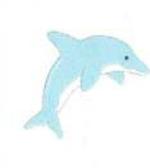
◆リネン・洗濯室

私たちが働く洗濯室は、本館一階の西端（富士山側）にあります。二台の大型ドラム式業務用洗濯機と二台の大型ドラム式ガス乾燥機が置かれ、朝六時頃から夕方五時までフル稼働しています。また洗濯が必要なタオル類や着衣等を素早く集積できるよう荷物用エレベーターが設置されています。このように大型機器が置かれてあるのでそれほど

私たちが施設には一階から三階の各フロアーには機械浴と大型浴槽を備えた浴室があります。皆さんが入浴をされた後、大量のバスタオルが届いて洗濯室の業務はピークを迎えます。これらのバスタオルを翌日以降の入浴の際に不足無く、当たり前前に使用することが出来るよう万全の準備しておくことも私たちの仕事の一つです。

の広さを感じられませんが部屋の広さは約四十五畳あり、そのうち十五畳程は小上がりになっていて畳が敷かれてあります。この場所ではスタッフ職員はもとより、ボランティアの皆さん、入居されている方々を始めとした多くの方々のご協力を得て洗濯・乾燥が完了した衣料を、区分け・分類の上たたみ・収納をし、翌日以降に遅滞なく利用出来るようにしております。

洗濯室スタッフ五名が月曜日から土曜日までのローテーションを組んで業務を運営しています。毎日使うものだから、また直接肌に触れるものだから安心して使っていただくことが出来るように心がけております。直接の介護に携わっていませんが、私たちは施設としてのホスピタリティの一助を担っていると思えます。



洗濯室スタッフ（順不同）
（上段右端から）小宮山 純・江口 承平・久保田美由紀、下段右端から：砺波 重夫・杉山 郁子

献金下さった方々

敬称は略させていただきます

1月分

梶山美好、日本キリスト教団砂町教会、藤池巧、捜真女学校同窓・PTA、玉川聖学院、日本基督教団岩本教会、日本キリスト教団富士教会日曜学校、長田豊吉、日本キリスト教団三島教会、日本キリスト教団沼津教会、女子学院宗教部

2月分

日本キリスト教団御殿場教会、宮澤千秋、杉山一広、山崎れい子、捜真女学校高等学校部・中学部

3月分

一般社団法人玉穂報徳会、加藤喜美子、中川弘寿、匿名、

御殿場十字の園へのご寄付			
1月分	11件	4,655,000円	
2月分	5件	66,000円	
3月分	6件	128,950円	

4月～H28.3月累計	82件	5,669,803円
-------------	-----	------------

ご献金、ご献品心より感謝申し上げます。

郵便振替口座

口座番号 00870-9-190162

口座名称

社会福祉法人十字の園
御殿場十字の園

ご連絡下されば振替用紙をお送りいたします。

西村正子、山田サダ

協力ボランティア

敬称は略させていただきます

1月

神保久美子、みくりや友の会、春風一路、厚生年金婦人部、アドナイ館、中里京子、貢宝会、加藤正代、中曽根靖枝、琴音会、隆生会、鈴の会、勝又美和子、市婦連福祉グループ、勝又えつ、たかね婦人会OB会

2月

神保久美子、みくりや友の会、春風一路、厚生年金婦人部、アドナイ館、中里京子、貢宝会、加藤正代、中曽根靖枝、琴音会、隆生会、鈴の会、勝又美和子、市婦連福祉グループ、勝又えつ、たかね婦

人会OB会

3月

中里京子、厚生年金婦人部、アドナイ館、みくりや友の会、関根保子、ビューティーサロンヤマダ、渡辺弘子、加藤正代、中曽根靖枝、斉藤淑子、御殿場教会、大西孝明、琴音会、勝又美和子、鈴の会、なでしこ会、市婦連福祉グループ、勝又えつ、赤十字奉仕団、春風一路



*熊本の復興の一助となることを祈って

四月十四日夜、十五日に発生した「平成二十八年（二〇一六年）熊本地震」の義援金を募りました。熊本に支援に向かう。支援物資を送るといふ方法の他にも、復興イベントに参加する。あるいは多くの人と復興イベントを企画してその売上を送る。熊本の地場産品を購入する等、熊本の支援の方

熊本地震 被災者義援金募金
ご協力をお願い致します。



MAKERUNA! KUMAMOTO!

法は一つだけではなく、幾つもの方法があると思います。

私たち施設ではその多くの方法の中から「私たちが出来ること」として職員はもとより、施設に住まう方々。施設を利用してくださる皆さん。ボランティアに来てくださった人々、そのひとりひとりが熊本に役立ててもらえるようにと願いを込めて貴重なお金を募金していただきました。総額六万五千五百七十三円は『特定非営利活動法人全国小規模型居宅介護事業所連絡会』『公益社団法人全国老人福祉施設協議会』を経て熊本県の復興に役立てていただきます。

ご協力ありがとうございます。

あとがき

世界初の量産型パーソナルコンピュータは一九七七年生まれのアップル2で、あなたが持っているiPhoneやAndroidの直系の先祖様です。さて愛鷹山中腹の富士通沼津工場に一九五七年生まれで稼働可能な製品としては世界最古のコンピュータがあります。国産旅客機YS-11の構造計算に用いられました。ギネスブックに登録申請をしたところ「この製品が『世界最古』である事は不変です。私たちは今後更新されない記録は登録しません。」と却下されたとの事。物の価値・尊さは多面性を持っていると感じつつ、メディアが『世界遺産登録』と『オリンピック』を混在させている状況を笑いながら、この機関誌をお届けします。

(やまもと)

